

本場アメリカトレーナー界にスタッフとして、現場で活躍できるチャンス 「米大学トレーナー長期留学インターンシッププログラム」11年度参加者募集

スポーツ留学専門会社のアスリートブランド（東京都千代田区）は、アスレチックトレーナー、スポーツ界の本場アメリカの大学のトレーナー部隊にスタッフの一員として、現場に入り、他のアメリカ人学生トレーナーとともに現場に入って、実践学習の機会を得られる、米大学トレーナー長期留学インターンシッププログラムの2011年度生を募集しています。

本プログラムは、英語を勉強しながら、アスレチックトレーナーの現場を単なる見学だけでなくトレーナースタッフの一員として各トレーナー活動に参加、現場の実践的な体験ができるという、本来、それまでに1年またはそれ以上かかるようなインターンシップ機会を、英語力がない方でも、英語を学びながら語学プログラムに通いながらできるという画期的なプログラムです。

本プログラムは、2004年より続き、過去に参加の日本人トレーナー志望者は、みなとても勤勉だったため、受入先からは、好評を得ております。受入校の一つ、カリフォルニア大学サンディエゴ校（以下 UCSD）ヘッドトレーナー、ケビン・メッシー氏は、日本人のトレーナーの勤勉さに驚くとともに、その姿勢、意欲を高く評価し、毎年受入を歓迎しています。「これまで4人のインターンを受け入れてきているが、みな学び取ろうと、一生懸命で、しっかり頑張る姿に感心している。もちろんトレーナーチームにも貢献している。素晴らしい生徒を送っていただいてありがとう」本場アメリカのトレーナー界の現場にすぐに受入れてもらい、他の学部生と同様の体験ができるという本人だけでなく、受入側のヘッドトレーナーにとっても喜ばれる、WIN-WINの関係を築いているのが、このプログラムの特徴です。

今年の夏プログラムを終えた中嶋君は受入校、ヘッドトレーナーからの推薦状をもらい、現在、アメリカで、NATA（全米アスレチックトレーナー協会）認定プログラムの大学院への進学準備中です。他のプログラム参加者には、NATA 認定校大学を卒業し、NATA 認定資格を見事取得した方もいらっしゃいます。

■日程：2011年7月末～2012年5月末（11年3～6月に、語学学校に参加可能）

■受入先：1. グレンデル大（アリゾナ州）ヘッドトレーナー アーロン・フリード氏 Aaron Fried

2. UCSD: カリフォルニア大サンディエゴ校（カリフォルニア州）ヘッドトレーナー ケビン・メッシー氏 Kevin Messey

■滞在先：ホームステイ

■参加資格：◆専門学校、大学で鍼灸含むトレーナー関連の専攻が1年以上ある方。治療院等での勤務経験、学生トレーナー活動等、長期間の実践経験望ましい。（グレンデルは未経験者でも参加可能です）◆長期にわたり留学が可能の方（資金面、健康面等含む）◆名より実にごこだわり、受入先に貢献しながら、英語を身に付けていこうという積極的な方 ◆NATA 資格取得を目指すトレーナー留学志望者

■定員：グレンデル大 2名程度、UCSD 1名限定 *応募者多数の場合、書類、面談にて決定の場合あり。

■担当する可能性のあるスポーツ（シーズンローテーション制）：野球、サッカー、ソフトボール、バスケットボール、バレーボール、陸上、テニス、アメリカンフットボール（グレンデル大のみ）、水球（UCSDのみ）等

昨年参加し、現在大学院留学挑戦中の中嶋康博君（山形県）の感想

「怪我の評価からテーピング、リハビリまで全て資格のあるアスレチックトレーナーのチェックが入り、アドバイスがもたらえて相談もしてもらえ環境は、地元の子の間でも評判はすごくいいです。近隣のディビジョン1、NATA 認定校の学校とも提携し、交流や、スポーツと医学に関する情報の日々メールで配信してもらえます。このような素晴らしい環境で、勉強できる機会をもらうことができ感謝しています。ケビンからは、今後の進路の相談もしてもらっています。他の現場への紹介や、推薦状を書いてもらえたりもします。本当に、頑張る学生の背中を押してくれます。アメリカのネットワークは、思った以上にすごくしっかりしているので、ヘッドトレーナーのケビンから一声を頂けることはこのプログラムの一つの魅力です。」中嶋君の感想詳細：<http://www.athlete-brand.com/interview/002.html?at>

本プログラムのサイト：<http://www.athlete-brand.com/program/potential.html?at>

プログラムの特徴：ずばり、渡米後すぐに本場アメリカのトレーナー界の現場をスタッフとして体験できることです！

通常、学生として本場アメリカのアスレチックトレーナー界の現場に入る場合、まず大学に入れる英語力を身につけるために、数ヶ月～1年程度語学学校に入ります。大学入学後、アスレチックトレーナーの現場に学生トレーナーに入るには、通常、アスレチックトレーニンプログラムに入ります。そのためには、独自の面接や試験などがあり、入学後すぐに入れるということは、実はそれほど多くなく、アスレチックトレーナーの現場に入るには、渡米から1年以上かかってしまうというのは、それほど珍しくありません。このプログラムは、言葉以外の面の姿勢や意欲の面で、評価されている日本人を、渡米後なるべく早い時期にアスレチックトレーナーの現場に入らせ、同時に英語力を高めてもらおうということで特別交渉の上、出来上がりました。

参加申込・資料請求方法 ①お名前②学校・学部③生年月日④住所⑤電話番号⑥Eメールアドレス⑦「トレーナーインターンシップ」とご記入の上 FAX 03-3230-8050 または info@athlete-brand.com 迄ご連絡をお願いします。

報道関係各位の連絡先 米大学トレーナー長期留学インターンシッププログラム日本窓口

アスリートブランドジャパン株式会社 東京都千代田区平河町 1-6-8 平河町貝坂ビル 2F

fax:03-3230-8050 tel:03-3230-0036 HP:<http://www.athlete-brand.com> Email:info@athlete-brand.com

米大学トレーナー長期インターンシッププログラム ～トレーナー長期留学

**本場アメリカで、他には出来ない実践インターン経験。
この挑戦は、目指していたゴール、または全ての始まり。
動き出さなければ何も起こらない**

大好評プログラムのため、定員がすぐに埋まってしまいます。すでに、UCSD は最速、1年半前に埋まってしまったことがあります。先着順ですのでお早めにご連絡下さい！！

学校・場所	開始	期間
 <p>カリフォルニア大サンディエゴ校 (カリフォルニア州サンディエゴ) 定員 1名 * 広大なキャンパスの4年制総合大。</p>	毎年 3月または6月 トレーナー活動は7月末 	半年～1年
 <p>グレンデール大(アリゾナ州グレンデール) 定員4～5名 * フットボール、野球に力入れる。MLB選手も輩出。マリナーズキャンプ地近郊。</p>	毎年 3月または6月 トレーナー活動は8月頭 	1学期 3ヶ月～1年

【参加資格】◆専門学校、大学で鍼灸含むトレーナー関連の専攻が1年以上ある方。治療院等での勤務経験、学生トレーナー活動等、長期間の実践経験望ましい。(UCSD、グレンデールは未経験者可) ◆長期にわたり留学が可能の方(資金面、健康面等含む) ◆名より実にごこだわり、受入先に貢献しながら、英語を身に付けていこうという積極的な方 ◆ヘッドトレーナーから NATA 情報、推薦状をもらったり、今後のコネクションを作りたい方

■即戦力トレーナーインターンプログラム体験者の声！

◆佐藤大樹さま(大分県): UCSD、カリフォルニア大サンディエゴ校で英語を勉強しながら、英語の授業のあと、トレーナーの現場=トレーナーズルームで スタッフの一員として過ごしています。『UCSD、カリフォルニア大サンディエゴ校は NATA 認定校ではないのですが、近隣にある NATA 校の、サンディエゴ州立大=サンディエゴステイト、アスレチックトレーニングとのプログラム上つながりがあるようで、サンディエゴステイトの学生との交流もよくあります。

そこで勉強している日本人とも知り合いになり、その方がサンディエゴ・パドレスでインターンしているそうで、メジャーリーグ、サンディエゴ・パドレスのスタジアム PETCO PARK ペットパークに連れて行ってもらい 現場を体験させてもらいました。

◆真人さん(静岡県) 自分が UCSD で勉強できたこと、得たこと、利点などは、

- ・ (なかなか勉強できない) アメリカのアスレチックトレーニングの現場がよく見れたこと
- ・ さまざまなスポーツの現場の状況をみれたこと
- ・ アメリカの ATC やアスリートと交流ができたこと
- ・ アメリカと日本のスポーツや病院のシステムの違いを学べたこと
- ・ 関連施設の訪問と勉強(シアトルマリナーズの Arizona camp 訪問、手術見学、Dr 診察見学、他の大学(サンディエゴ州立大、サンディエゴ大の見学など)
- ・ 通常の語学学校ではなかなか接点のない、アメリカ人との交流が多く、英語の勉強になったことだと思います

:カリフォルニア大サンディエゴ校ヘッドトレーナー

ケビン・メッセイ氏 Kevin Messey MS, ATC, CSCS, CES Head Athletics Trainer

【プロフィール】

ケビン・メッセイ氏のアスレチックトレーニング経験は、サウスウエストミズーリ州立大から始まります。彼はそこで、スポーツメディスン・アスレチックトレーニングの学士を取ります。大学のプログラムを経て、更なる上のレベルを求め、フェニックスのアリゾナスクールオブサイエンス(ASHS)へ進みます。

ASHS でさらなる専門的な知識とプロのアスレチックトレーナーとしての十分な経験を積みます。NATA 認定アスレチックトレーナー=ATCとして、高校や二年制大で勤務する一方、NFL サンフランシスコ 49ers、MLB サンフランシスコジャイアンツ、オリンピックセン

ターで、プロアスリート対応経験を積み現在に至ります。現在 UCSD でヘッドトレーナーを務める傍ら、近隣の NATA 認定校サンディエゴ州立大の認定講師として指導もしています

少人数制、プログラムの質の高さ重視するため、UCSD ではケビンから定員 1 名と限定されています。

このプログラムは、積極的な方、勉強をはじめ、何事にも熱心な方を求めています。

渡米時点での英語力は問いませんが、トレーナープログラム開始、8 月の前に語学学校に通い、事前に英語力向上に務めることを強く推奨しております。

積極性に関しては、積極的な方には、ケビンはどんどん惜しみなく、彼のスキル、ノウハウを教えていきます。ただ、待っているだけの方には、ケビンの方から、教える、ということはありません。あらかじめご了承ください。

枠は先着順です。2010 年から、本プログラムに挑戦したい方はお早めにご連絡下さい。

★年度の具体的な流れ

渡米の 1 年半～8ヶ月位前	申込→学校手続き→ビザ手続き→渡米準備
3 月、5 月または 6 月	渡米 語学学校入学*1
7～8 月	インターン開始 平行して英語プログラムで英語習得

*1 受入れ先にとって文字通り「即戦力」になるために、事前に 1-3 ヶ月、英語プログラムに入ることをお勧めしています。それにより、コミュニケーション力がアップし、より実践的な活動が出来、双方ともにメリットがあります。

語学学校 ⇒ アスレチックトレーニング学部の流れの違い

一般的な流れ 語学学校開始 《6ヶ月～1年》 英語 空き時間は自由 英語を勉強してもよし、遊んでもよし 目標:トフル突破	トレーナー即戦力インターンプログラムの場合 語学学校または英語プログラム トレーナー即戦力インターン開始 《6ヶ月～1年》 英語学校開始(1～3ヶ月) トレーナー即戦力インターン開始 英語+トレーナーの現場活動 目標:トフル突破と アメリカスポーツ界の現場経験・コネ作り
トフル基準点突破⇒大学入学 アスレチックトレーニング学部面接 日本での経験をアピール	トフル基準点突破⇒大学入学 アスレチックトレーニング学部面接 日本とアメリカでの経験をアピール 推薦状を書いてもらえる可能性あり (*活動評価による)

■1年間(1アカデミックイヤー)にかかる費用(学費、滞在費、食費等の概算。学校側の算出による)

1.75 万ドル～2.5 万ドル(145 万円～207 万円 1ドル=83 円計算)

■プログラム費用 会員* 518,000 円 非会員 588,000 円(税込)

*会員=以前に弊社短期プログラムに参加された方は会員特別優待となります。お問い合わせ下さい